

箸荷だいすき

発行/むら芝居と花の里 はせがい

兵庫県多可町加美区箸荷 季刊(年4回)

編集/箸荷新聞編集委員会

URL <http://www.haseshow.com>

2006年 4月 7日発行 VOL.47

17年度箸荷区通常総会 開催される むらづくり事業計画など承認

3月21日午後1時から、箸荷むらづくり館で平成17年度箸荷区通常総会が開催されました。区民53人が出席し、決算報告、予算案の審議などが行われました。

まず初めに、長年 地区の役員として村行政に貢献された今中達治さんに区長から感謝状の贈呈が行われました。今回は役員選挙がなく総会は午後5時前に閉会し、そのあと懇親会がありました。総会で決まった主なことは次のとおりです。

恒例の溝掃除は、4月23日(日)午後1時から行う。

7月16日(日)午前川刈り、午後下刈りを予定。川刈りはボランティアとし、下刈りは日役とする。

老朽化している輿堂を撤去の方向で進める。

今年も秋祭り余興大会を集落挙げて開催する。皆さんのご協力、ご参加をお願いします。

むらづくり委員会を継続し、盛り上げていく。町の助成事業「多可の里づくり事業・むらづくり活動助成金」を活用し、秋祭り開催、全国むら芝居サミット参加などの事業を計画する。

集落のむらづくり事業の取り組みが対象で、むらづくり協議会などの組織をつくり、初年度は計画策定(助成金5万円)、2年目から6年目までは活動費(助成金の上限30万円×5年間)の補助金をもらえるという事業。箸荷地区はすでに委員会組織を立ち上げているので、初年度から30万円の事業に取り組み、5年間の計画を策定。集落新聞の発行、花いっぱい運動の推進、秋まつりとむら芝居の継続などが主な事業内容。

箸荷区入会・脱退規則改定の作業を役員で進める。

箸荷区所有の土地で、共有名義になっているものについて、名義変更手続きが完了した。

株式会社コーヨーの製炭工場の件で、コーヨーと4集落(大袋、三谷、箸荷、門村)の協定書の調印が完了。水質、騒音対策などについて協定した。

大歳神社の屋根の塗装完了。

県道門村山南線の道路拡幅工事(株式会社コーヨー付近)にまもなく着工する。入札は完了。

大見坂の治山工事の残事業については、3月24日に入札の予定。まもなく工事が始まる。

農会から 今年の転作率は30パーセントで、昨年とほぼ同じ。皆さんのご協力をお願いします。

寺総代から 浄居寺の庫裡と座敷が非常に老朽化しているので、今年度に庫裡のリフォーム、来年度に座敷建て替えの計画で進めたい。来年度に1軒あたり約10万円ずつの負担金をお願いしたい。後日、改めてご相談します。

箸荷老人クラブの総会で、役員交代がありました。(敬称略)

会長 = 今中太茂津、副会長 = 天野時男、会計 = 京崎一司

婦人部長 = 今中好子、同副部長 = 今中富久子

婦人会の総会で、役員交代がありました。新役員は次のとおり(敬称略)

婦人会班長 = 今中一栄、副班長 = 藤本和子

子ども会の新役員は次のとおり(敬称略)

中学校代表委員 = 今中一富、今中敦子、子ども会連絡協議会委員 = 今中一富

小学校代表委員 = 藤本博之、石田佳須美、同協力委員 = 今中康隆、藤本栄子

弓矢で鬼を射抜き 幸願う

大歳神社で百々手祭り 開催される

箸荷の大歳神社で2月11日午後1時から、伝統的行事「百々手(ももて)祭り」が古式ゆかしく繰り広げられました。五穀豊穡や産業発展などを願う新春の行事で、境内で弓矢の儀式やもちまきなどが行われました。

百々手祭りは立春後、稲作など農耕作業が始まる時期に合わせ、かつては2月の卯(う)の日に行われてきました。弓矢を放ち、四方の魔をはらう神事で、同地区では古くから、祭当番にあたる「御頭」7人を決め、地域ぐるみの行事としています。

儀式に使う弓矢は御頭が青竹で手作り。的は中心に「鬼」という文字を書き、その上を黒く塗りつぶしており、神殿から約15メートル離れた位置に立てます。矢で的を射抜くことで悪を退散させ繁栄などを授かるといいます。

祭りは午後1時、氏子の地区住民らが集まり、神事が行われました。御頭渡しの神事では、今中大祐さんから萬浪正義さんへ引き継がれました。このあと、1時45分ごろから弓矢の儀式へ。張りつめた雰囲気の中、12本の矢が放たれました。放たれた矢を家に持ち帰ると幸福を呼ぶとの言い伝えがあり、境内に詰めかけた子どもたちが競って取り合っていました。

花壇の花植え替え 4月16日(日)

春の花の植え替え作業を次のとおり行います。グラウンドの花壇や才田のプランター等の花植え、風計公園の除草作業などをお世話になります。むらづくり委員会が呼びかけ、村じゅうの皆さんでお世話になりたいと思います。よって、子ども会から老人クラブの皆さんまで、お手すきの方はできるだけご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

4月16日(日)午前8時 箸荷グラウンド集合

溝掃除 4月23日(日)

水利組合主催の恒例の溝掃除が4月23日(日)午後1時から行われます。ジョーレン、スドリなどをご持参ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

4月23日(日)午後1時 箸荷グラウンド集合

景観形成支援事業の18年度要望

その都度、ご相談を

箸荷地区が平成12年12月に「景観むらづくり協定」を結んだことにより、平成13年度から兵庫県の「景観形成支援事業」の対象地区となりました。これは、箸荷の基準に基づいて建物を建築したり、屋根の葺き替え、塀など外観部分の改修をした場合に県から

その費用に対して補助金が出るものです。

平成18年度(平成18年4月～平成19年3月までに完成分)に事業を予定されている方は、事業に着工する前に区長さん、または隣保長さんへご連絡をお願いします。計画されている事業の概要(計画図面があれば、お持ちください) 予定事業費、着工・完成予定時期などをお知らせください。むらづくり委員会で事業の内容をご説明いただき、その後、地域局へ景観形成支援事業(補助金)の申請をしていただくことになります。

景観形成支援事業

補助率は1/4で、補助対象金額は建物等の外観部分の工事費です。

補助限度額は75万円となっていますが、県内の要望数、事業費などにより、満額出ないことがあります。

あくまでも「美しい景観を守る」ことが目的です。

補助金が毎年限られており、県内で要望がたくさんあった場合などは、補助金が出ないことがあります。また、兵庫県の審査により補助金が決定されるので、補助金が出ない場合はご了承願います。

建物等の条件

箸荷の景観形成基準に合った構造、色彩であること。

箸荷むらづくり委員会に事前に相談し、建物等の概要を説明していただきます。

申請に必要な書類(申請は事業着手の直前にしていただきます)

(申請時) 現況写真、業者の見積書、配置図、平面図、立面図など

(完成時) 完成写真、業者の請求書、領収書など

問い合わせ 区長 または箸荷むらづくり委員会事務局の今中孝介へ

全国むら芝居サミットの準備着々

10月28日(土)・29日(日)に豊岡市で

第4回全国むら芝居サミット in 豊岡の実行委員会委員長、宵田一座の高階正夫座長から箸荷に開催要項が届きました。サミットの開催日は平成18年10月28日(土)29日(日)で、会場は豊岡市日高文化体育館。約800席の客席を備えた立派なホールで、実行委員会では万全の体制で準備を進めておられるとのこと。当日は、井戸・兵庫県知事も出席の予定。

1日目は午後むら芝居公演、夕方からはホテルで懇親会、夜なべ談義、2日目は市内見学などが計画されています。ただいまのところ参加を表明しているのは、新潟県佐渡市の赤泊演劇研究会、上越市のNPO法人素人芝居「大浦安」、愛知県北名古屋市の町民劇団「福祉座」。いずれも芝居公演もしての参加の予定。県内で近いので、箸荷地区もぜひ芝居を持って大勢で参加したいものです。

第4回全国むら芝居サミット in 豊岡開催要項

と き 平成18年10月28日(土)～29日(日)

会 場 【公演、開・閉会式】日高文化体育館

【交流会、宿泊】 ホテル幸祥

主 催 「全国むら芝居サミット in 豊岡」実行委員会

参加費 1人1万円

後 援 豊岡市、豊岡市教育委員会、兵庫県(但馬県民局)、但馬信用金庫、神戸新聞但馬総局、朝日新聞豊岡支局、読売新聞豊岡支局、毎日新聞豊岡支局、産経新聞豊岡支局、日本海新聞豊岡支局、NHK神戸放送局、はーとふるふぁんど

第11回杉原紙年賀状全国コンクールの作品展

全作品1,383点を和紙博物館で展示 4月30日まで

多可町加美区(旧加美町)発祥の特産和紙・杉原紙をPRする「第11回杉原紙年賀状全国コンクール」の作品展が、加美区鳥羽の「和紙博物館・寿岳文庫」で開催されています。4月30日までで、同博物館の2階を会場に、全応募作品1,383点が展示されています。

旧加美町から継続して行われている同コンクールは、今回で11回目。県内外や中国・広東省三水市から作品が寄せられました。ちぎり絵を中心に版画や水彩画で描かれたえとの犬など、多彩な作品がそろいました。

作品展は2月中旬から始まり、中区の那珂ふれあい館、八千代区の八千代公民館を巡回し、最後の展示会場となる和紙博物館に展示されています。休館日は水曜日。

はせがいの動き

1/15 和紙原料・コウゾの1戸1株栽培運動の収集日。たくさんのコウゾを出していただき、ありがとうございました。

1/22 老人クラブ有志による箸荷コウゾ園の収穫。

川西市黒川自治会から38人が箸荷地区のむらづくりの取り組みを視察。

2/5 多可町消防団の結団式がアスパルで開催される。箸荷部の代表も出席。

2/11 丹波市市島町から8人が視察研修に来村。

百々手祭りが大歳神社で開催される。

2/18・19 箸荷消防団が北海道旅行。スキー・スノーボードも盛り込んだ日程で、団員のほとんどが参加したとか。参加率の高いのが箸消のいいところです。よく飲(や)れましたか。

3/10 むらづくり委員会開催される。4月の花植えの日程や10月の秋祭り余興大会開催、全国むら芝居サミット参加などが確認されました。また、18年度から始まる「多可の里づくり・むらづくり活動助成金」の申請書類の内容検討を行いました。箸荷地区ではすでにむらづくり委員会が発足しているため、18年度は満額の30万円の活動助成金を申請することになりました。

3/25 子ども会のお別れ会・歓迎会がむらづくり館で行われました。中学校を卒業する3人、小学校を卒業する2人を送り、また新しく幼稚園に入園する子どもたちを歓迎する会です。館内でゲームを楽しみ、おやつをもらって夕方までみんなで遊んでいました。

4/4・5 老人クラブが下呂温泉へ一泊旅行。桜の開花はいかがでしたか。

の・ん・べ・え・編・集・室

第1日曜日はジャズ満喫。本格的なジャズを身近に楽しんでもらおうと、丹波市氷上町の日本料理「若駒白雲閣」は3月から毎月第1日曜日、阪神間で活動するジャズミュージシャンを招き、ジャズの生演奏によるコンサートを開いています。このコンサートの企画を担当されている佐藤さんは箸荷にお越しになり、紅茶の会と交流したことがあります。参加費は1人5000円で、軽食付き、飲み放題。コンサートは第1部が50分、第2部が50分。刺身や揚げ物などがついた軽食はちょうどよいボリューム。飲み物はビールや日本酒、焼酎、カクテル、ホットコーヒーなどいろいろあり、鑑賞しながらゆっくり飲めるので、なかなかいいです。

5月、6月の予定も決まっているようなので、ぜひ興味のある方は問い合わせしてみてください。若駒白雲閣のホームページはこちら <http://www.forever-net.com/>